発行日：2016年7月1日
担　当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
（一般財団法人　日本花普及センター）

いい花の新基準。
JAPAN FLOWER SELECTIONS

JAPAN FLOWER SELECTIONS
ジャパンフラワーセレクション受賞
2016-2017

ジャパンフラワーセレクション2016-2017　ガーデニング部門

春審査会　審査結果の発表

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」のガーデニング部門では、このたび、春に花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する春審査会において、10品種の審査を実施し、全品種を推奨品種10品種として選定しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

選定された品種は、認定登録を行うことにより花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。

なお、これらの中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。

【実施概要】

■審査会日時:
春審査会　2016年5月19日（木）14:00～17:00

■開催場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター
（千葉県柏市）

■選定品種：ガーデニング部門　春審査対象10品種

■入賞品種：10品種

【審査委員】

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、
花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

福永　哲也	豊明花き㈱　代表取締役社長（ガーデニング部門長）
尾崎　明弘	㈱オザキフラワーパーク　代表取締役
杉井　志織	はなぐみ　代表
山口　まり	（一社）日本ハンギングバスケット協会理事
渡辺　均	千葉大学環境健康フィールド科学センター准教授

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局＞
TEL　０３－３６６４－８７３９
FAX　０３－３６６４－８７４３
E-mail：jfpc@jfpc.or.jp
ホームページ： http://www.jf-selections.net

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

＜ジャパンフラワーセレクションとは＞

ジャパンフラワーセレクション（ＪＦＳ）とは、２００６年４月からスタートした日本で唯一の統一的な花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に出回る花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定して「ジャパンフラワーセレクション受賞品種」として発表しています。
審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の３部門で行われています。これら受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（ＪＦＳマーク）を付けて販売されています。

なお、各審査会で選定されるベスト・フラワー（優秀賞）は、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選考会にノミネートされます。

＜JFS受賞マークについて＞

このマークが、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

ジャパンフラワーセレクション　ガーデニング部門のご案内

＜秋審査会　出品募集中！＞

ポット苗のご出品はこちらへ！

審査圃場：千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

ガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学）にて栽培記録つけ生育経過を観察し行います。苗物としての販売物はガーデニング部門にご出品ください。

■出品料：1品種30,000円（税別）
＊以下①②の条件に該当する方は、1品種10,000円（税別）です。
（減免対象者が2015年4月1日から一部変わりました）

①(一財)日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A
（都道府県、各種団体、企業、協同組合）
もしくは団体会員Aである都道府県内の生産育種農家。

② 全国新品種育成者の会の会員
＊千葉大への苗の搬入可能日は、毎週火曜日午前中となります。
（苗の納入日は変更になる場合があります）

▲千葉大の審査花壇の様子

■JFS出品対象品種
① 日本での種苗登録もしくは本格的な販売開始から概ね５年以内の品種
② 日本における商業的な生産・流通・販売が期待されるもの
（海外で育種されたものも含む）

▲審査の様子

■JFS出品申請者資格
以下のいずれかに該当する方が出品可能です。
① 品種の育成者権（同品種を業として扱う権利）を持つ者
② 契約により日本における販売代理を持つ者
（海外で育成された品種も出品可能）

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞
TEL　０３－３６６４－８７３９　　FAX　０３－３６６４－８７４３
E-mail：jfpc@jfpc.or.jp　　ホームページ： http://www.jf-selections.net

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

■ ジャパンフラワーセレクションの授賞体系について

1. 入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、JFS受賞品種は業界として自信をもって推奨できる品種です。入賞品種は以下の2～4の各賞の対象となります。

2. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での入賞品種（10点満点の7.0以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。

「モーストジョイ特別賞」
気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」
花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」
これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「カラークリエイト特別賞」
花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」
斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」
芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」
日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」
高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」
育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「モニター特別賞」
春・秋審査会での一般消費者のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。（切花部門・鉢物部門のみ）

3. ベスト・フラワー（優秀賞）

各部門で10点満点の平均点が8.0以上の品種に授与します。花や葉の美しさなど、品種特性の優位性や新規性に加えて、生活者の視点から「育てやすさ」「購入しやすさ」「飾りやすさ」なども評価し、総合的に優秀と認められる品種です。

4. フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

年末に開催される中央審査委員会で、年間を通じて開催された各審査会でベスト・フラワー（優秀賞）を授与した品種の中から、その年を代表する最も優れた品種に授与されます。各部門ごとに1品種ずつ選定されます。

■切　花　部　門・・・・・・1品種
■鉢　物　部　門・・・・・・1品種
■ガーデニング部門・・・1品種

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2015授賞式
（学士会館）

ベスト・フラワー（優秀賞）［ブリーディング特別賞　同時受賞］

品 目 名　：アルギランセマム属間ハイブリッド
品 種 名　：マックスマム　ピンク
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：Andrew Bernuetz
育成者権者：Bonza Botanicals Pty Ltd
審査講評　：生育のスピードがとても早く、株はバランス良くこんもりと成長する。
従来のマーガレットのように花の高さが揃わず、微妙に高低がついて咲くことで立体的に見え、自然な雰囲気もでている。
マックスマムシリーズの中でも一番1株のボリュームがあり、花も大きかった。花の中心部は茶色で蛇の目状に見えかわいらしく、赤い覆輪が入るところもアクセントになっていて印象的。
ベスト・フラワー（優秀賞）と「育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種」としてブリーディング特別賞を同時受賞した。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

▲定植後54日の屋根付き施設での様子（5月23日撮影）

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（3月30日撮影）

▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子（4月25日撮影）

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子（5月10日撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞　同時受賞］

品 目 名　：マーガレット
品 種 名　：ぽぽたん　スイートピンク
受 賞 者　：松原園芸
育 成 者　：松原園芸
審査講評　：花色はかなり淡いピンク色。丸みを帯びた可愛らしい花型は、咲き進むにつれて変化する。花色はピンク色から徐々に白色に変化し、中心部はほんのりとしたピンク色になる。
生育は旺盛で、花つきも非常に良い。誰にでも失敗無く育てやすい点が消費者にアピールしやすい。
個人需要だけでなく、咲き揃いが良いので景観植栽にも使いやすいだろう。
ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後14日の屋根付き施設での様子（4月13日撮影）

▲定植後26日の屋根付き施設での様子（4月25日撮影）

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（3月30日撮影）

▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（4月13日撮影）

▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子（4月25日撮影）

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニューバリュー特別賞 同時受賞］

品 目 名　：ルピナス
品 種 名　：開運の昇り藤　ピンク×ホワイト
受 賞 者　：仙波園芸
育 成 者　：仙波　勉
審査講評：　1番花の花穂は長くみごと。その後も側枝への花上がりがとても良く、2番、3番、4番くらいまで咲き、連続開花性があることが確認できた。
販売時にこのパフォーマンスが伝わるような工夫をすることで商品性がより高まるだろう。
ルピナスに新しい価値観を与えてくれるとても優秀な品種として、ベスト・フラワー(優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞した。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後14日の屋根付き施設での様子（4月13日撮影）

▲定植後26日の屋根付き施設での様子（4月25日撮影）

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（3月30日撮影）

▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（4月13日撮影）

▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子（4月25日撮影）

ガーデニング部門春審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

入賞

品 目 名　：アルギランセマム属間ハイブリッド
品 種 名　：マックスマム　ホワイト
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：Andrew Bernuetz
育成者権者：Bonza Botanicals Pty Ltd
審査講評　：花弁の白色と中心部の茶色のコントラストがシックな印象。マックスマムのシリーズの中では若干小ぶりなほうだが、他の色と同じように花つきはよく見応えがある。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

▲定植後54日の屋根付き施設での様子（5月23日撮影）

品 目 名　：アルギランセマム属間ハイブリッド
品 種 名　：マックスマム　イエロー
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：Andrew Bernuetz
育成者権者：Bonza Botanicals Pty Ltd
審査講評　：生育スピード、株のまとまりに関してはマックスマムピンク同様にすばらしい。鮮やかな黄色の花弁。
花つきはよく見応えがあり、旺盛に枝葉を展開させながら多数の花をつける。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

▲定植後54日の屋根付き施設での様子（5月23日撮影）

ガーデニング部門春審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

入賞

品 目 名　：アルギランセマム属間ハイブリッド
品 種 名　：マックスマム　レッド
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：Andrew Bernuetz
育成者権者：Bonza Botanicals Pty Ltd
審査講評　：鮮やかな赤い花は、咲き進むと若干色が薄くなるが、補色の効果でシリーズの中では一番葉色が美しく映える。
色味が強いので、春～夏時期の需要が不明だが、スパイシーな赤は植栽のアクセントとして活用できる。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

▲定植後54日の屋根付き施設での様子（5月23日撮影）

品 目 名　：ビデンス
品 種 名　：ビーダンス　レッド
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：佐藤　和規
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：ビーダンスの中でもﾚｯﾄﾞは葉が地際で収まっており、花首が長いのでハンギングや寄せ植えの材料と活用しやすい。
ワイルド系で整っていない草姿が魅力的。
花ガラも目立たず、管理しやすい。
蜂蜜のような香りも楽しめる。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後26日の屋根付き施設での様子（4月25日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

ガーデニング部門春審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

入賞

品 目 名　：ビデンス
品 種 名　：ビーダンス　イエロー
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：佐藤　和規
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：同じシリーズの中でも花首は短く、こんもりと育つタイプ。ガーデンでも寄せ植えでもボリュームが出て、消費者の満足度は高いだろう。グランドカバーや鉢植え、ハンギングバスケットと活用の幅が広い。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

▲定植後26日の屋根付き施設での様子（4月25日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

品 目 名　：ビデンス
品 種 名　：ビーダンス　レッドストライプ
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：佐藤　和規
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：黄色の花弁に赤いストライプが入った独特の風情がある。
ビーダンスレッドと同様、花首が長いタイプ。草姿がまとまっていなくても、自由な姿を生かすと花壇や寄せ植えに自然な動きがつけられる。

▲定植後1日の屋根付き施設での様子（3月30日撮影）

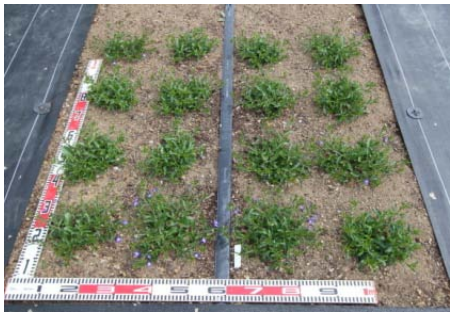
▲定植後26日の屋根付き施設での様子（4月25日撮影）

▲定植後41日の屋根付き施設での様子（5月10日撮影）

入賞

品 目 名　：ロベリア
品 種 名　：アズーロコンパクト　ブルーウィズアイ
受 賞 者　：サントリーフラワーズ株式会社
育 成 者　：宮崎　潔
育成者権者：サントリーフラワーズ株式会社
審査講評　：発色の良い明るいブルーに中心部の白が爽やか。
花つきも分枝もよく、ふんわり育つ性質は良い。生育が旺盛なため、1株でも花壇を埋め尽くすほどの被覆力があり、非常に経済的な品種でもある。

▲定植後1日の露地花壇・群落植栽の様子（3月30日撮影）



▲定植後26日の露地花壇・群落植栽の様子（4月25日撮影）

▲定植後41日の露地花壇・群落植栽の様子（5月10日撮影）